

# シリアの子供たち、大規模な国連のワクチン接種運動後、 死に始める

子どもの何人かは身体が膨れあがり、窒息して死に至る

【訳者注】これは国連の率先する、はしかワクチン接種運動で起こったことのようなから、大事件のはずである。しかもそれは間違いで起こったのではなく、子どもを残酷に死なせる注射液が、誰かによって意図的に作られたことは明らかである。彼ら（WHO もユニセフも国連機関）は、事件後も、「一刻も早く」接種運動を再開したいと言ったという。これは普通では考えられないことだ。シリアでの子供の扱いについて、何人かの独立ジャーナリスト（女性が多い）が、「ホワイト・ヘルメット」などによる表向きの報道の裏側で、恐ろしいことが起こっていると報告している。ある読者のコメントによると、第3世界で、はしかワクチンに関して、WHO や UN によるこの種のことが起こったのは、これが初めてではないと言っている。

Daniel Newton, [www.neonettle.com](http://www.neonettle.com)

May 4, 2018



少なくとも15人の子どもの死が、シリアのイデオイブで報告されている

シリアの子供たちは、国連子ども基金（UNICEF）によれば、国連の誘導で始まった、はしか予防ワクチン接種運動の結果、死につつある。<http://www.neonettle.com/tags/syria>

少なくとも 15 人の子どもが死んだと、シリアのイディブから報告されている。

子どもたちはすべて、2 歳以下だった。

子どもたちの中には、ワクチン注射のあと、体が膨れあがり、窒息して死んだ者もいる。

「UNICEF と WHO（世界保健機関）は、シリアのイディブにおける、少なくとも 15 人の幼い子どもたちの死の知らせに、ショックと悲しみに打ちひしがれている」と、声明は言っている。「子供たちが死んだのは、はしか免疫キャンペーンが行われていた領域だった。」

RT 放送はこう伝えた：——AP によれば、木曜日、イディブで、はしかワクチンの第 2 ラウンドが与えられた約 1 時間後に、子どもたちは“激しいアレルギー・ショック”の症状を発した——とジャルジャナスの医療センター、ワクチン担当医の Abdullah Ajaj は言った。

<https://www.rt.com/news/188580-syria-children-dead-vaccinations/>

このワクチン接種の第 2 ラウンドは、イディブとデルアゾールで、月曜日に始まっている。

接種に続いて、何人かの子供たちの身体が膨れ上がり、彼らは窒息して死んだ。

「叫びやわめきが響いた。親たちには残酷なことだ。子供にワクチン注射をしてもらおうと、その子が死に始めるのだから。ひどい話だ」アジャージは言った。

シリア反政府軍と人権団体との間で、話が食い違っており、ワクチンによる死者の数は、34 人から 54 人となっている。

WHO によると、彼らは専門家チームを送って、この事件を調査しようとしている。「子供たちの死の原因をはっきりさせることが肝要だ」と彼らは言った。

免疫化キャンペーンは、イディブとデルアゾール両地方で、一時、中断された。しかし UNICEF と WHO は、このキャンペーンが「一刻も早く」再開されることを希望している。

はしかの流行は、ワクチン接種によって、効果的に抑え込むことができると考えられている。しかし、未開発地方では非常に危険なことがある。

この病気は、体液、咳、目からの涙によって感染する。

国連の職員や他の非政府組織が、2011年3月に、バシール・アル・アサド大統領に対する蜂起が始まって以来、シリアで医療奉仕をしている。

シリア紛争はそれ以来、全面的内戦に発展し、国連によれば、19万以上の人々が殺されている。

アサドは、火曜日、テロに対する戦闘は、シリアやイラクの反乱兵に兵器や資金を援助する外国に対して、もっとプレッシャーをかける必要があると言った。

一方、アメリカは、インフラの破壊を含めて、「シリアにおけるISIS（イスラム国）の安全地帯を標的に行動する」計画をもっていると宣言した。米国防長官のチャック・ヘーゲルは、1,600名の米「軍事アドバイザー」をイラク軍に送る計画を発表した。

アメリカはまた、シリアの反政府軍5,000名を訓練し装備して、イスラム国集団の兵士たちと戦わせる予定だと言う。

——以上